

専門的知見の共有で、よりよい生活環境をともに創る

兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター 巡回相談ご利用案内

巡回相談「兵庫モデル」の基本方針



【目的】医学的視点からの助言を通じ、病態に合わせた介助方法や環境設定を最適化し、「よりよい生活」の実現をサポートします。



【手法】医師・PT・OT・ST・MSWなどの専門職チームが地域へ赴き、現場の皆様と直接協働します。

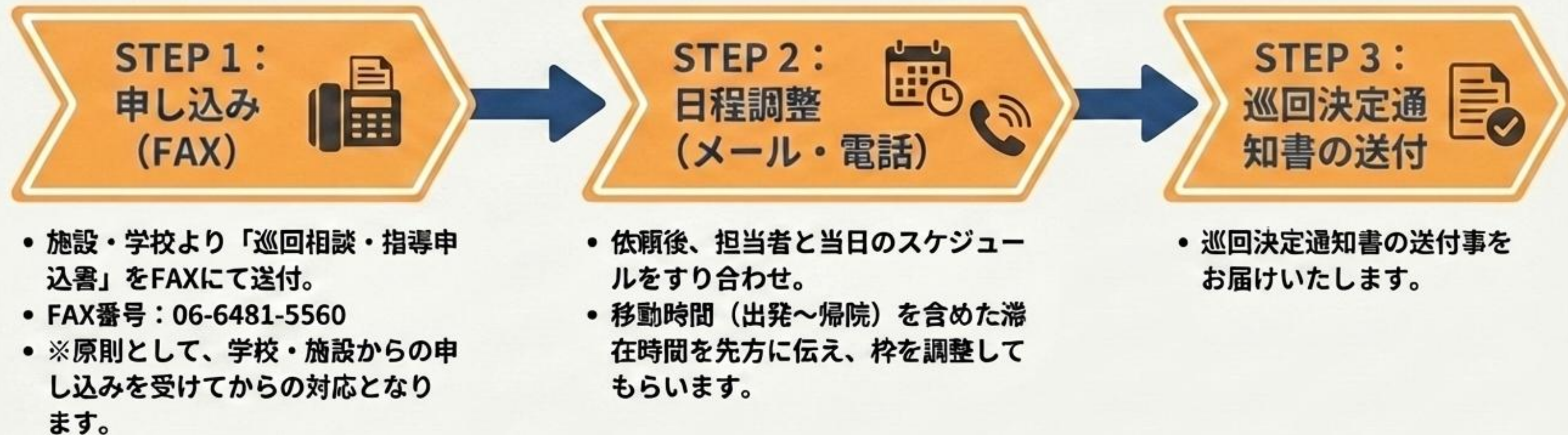


【役割：重要】直接的なリハビリ治療ではなく、生活環境の調整と専門的な助言に特化しています。



【費用】無料（兵庫県の事業として運用しております）。

相談業務までの流れ（1）：申し込みから調整まで



※巡回相談時は院内の外来リハビリ業務を予めストップして対応をしています。
そのため急な調整は難しいため、余裕をもって日程調整のご連絡をしてください。

相談スケジュールの組み立て：限られた時間を最大限に活かすために



時間枠のご確認

1日対応か、午前（AM）または午後（PM）のみの対応かをご確認ください。



ケース配分の基本ルール（40分/件）

1ケースあたり「40分」を目安に設定をお願いします。ケース間に「5分程度」の移動・休憩時間を必ず挟んでいただきますようお願いいたします。



チームの選定と事後相談について

ご依頼内容に応じて、最適な職種（PT・OT・ST）を派遣いたします。必要に応じて、最後に事後相談（カンファレンス）の時間を設けていただくと幸いです。

	PT さん2人	OT さん1人 来校予定
	PT 1F 相談室	OT 2F 会議室
10:05～ 11:00	A	B
11:05～ 12:00	C	D
12:00～ 13:00	昼食 ご休憩	
13:00～ 13:55	E	F
14:10～ 14:30	コンサルテーション	



当日の業務フロー（１）： 現場への到着と状況把握

1. 移動と到着

原則として公共交通機関を使用します。時間的制約がある場合のみレンタカーで移動します。

2. 挨拶と関係構築

学校コーディネーターの先生や施設スタッフへ挨拶を行います。（初見の場合は名刺交換をさせていただきます）

3. 準備と最終情報収集

セラピストの準備後、当日の予定変更や細かな状況について、確認させていただきます。

Point: 事前資料に載っていない最新情報が多い場合もため、この場での情報共有が非常に重要です。

当日の業務フロー（2）：観察・助言・コンサルテーション



Phase 1: 相談業務（AM/PM）

スケジュールに従い、児童生徒・利用者に関する相談・指導を実施します。
対象となる児童生徒・利用者の姿勢（ポジショニング）や学習環境の最適化を一緒に探ります。



Phase 2: 昼食・休憩時の観察

必要に応じてお昼休みにも対応します。

⚠ 注意: 環境調整や食事介助方法への助言にとどめ、「食形態」への過度な介入は控えます。



Phase 3: 事後相談（コンサルテーション）

相談業務中に伝えきれなかった詳細な介助方法などを補足します。
先生方やスタッフの皆様の意見をしっかり「傾聴」し、認識の相違がないかを確認します。